

平成26年度授業シラバスの詳細内容

| | | | | |
|---------------|--|-----|-------------|---------|
| 科目名(英) | 経済政策論(Economic Policy) | | 授業コード | E016101 |
| 担当教員名 | 市川 芳郎 | | 科目ナンバリングコード | E20411 |
| 配当学年 | 2 | 開講期 | 前期 | |
| 必修・選択区分 | 経営経済学科 選択 | 単位数 | 2 | |
| 履修上の注意または履修条件 | 現実の経済の動向に対しての関心があるかどうか経済政策論の理解の程度に大きく影響してきます。日々の新聞、ニュースに関心を示し、注意を払って下さい。問題意識の濃淡が理解の程度に大きく影響してきます。 | | | |
| 受講心得 | 講義を受ける基本的なルール(私語をつつしむ、他の学生の迷惑となる行為を行わないなど)を遵守してください。出席は毎回とります。毎回プリントを配布します。 | | | |
| 教科書 | 特定の教科書は使用しません。毎回講義用のプリントを配布します。 | | | |
| 参考文献及び指定図書 | <ul style="list-style-type: none"> ・岩田規久男 飯田泰之共著 『ゼミナール 経済政策入門』 日本経済新聞社 2006 ・大村達弥著 『経済政策 ミクロとマクロの基礎理論』 慶応義塾大学出版会 2008 ・飯田泰之著 『ゼロから学ぶ経済政策』 角川新書 2010 ・丸尾直美著 『入門経済政策(改訂版)』 中央経済社 1993 | | | |
| 関連科目 | 日本経済論(2年次)、 国際経済政策(2年次) | | | |

| | |
|-------|--|
| 授業の目的 | 現在、私たちはいやおうなく市場を中心とした経済のグローバル化の進展の下にいます。効率性の追求を最優先する市場を中心とした経済システムのもとで、われわれは本当に「しあわせ」になれるのでしょうか。政府の景気・雇用対策は実効性のあるものなのでしょうか。市場と政府のそれぞれの役割とその限界さらに2つのシステムの比較検討は経済政策論の中心課題です。経済政策論の講義を通して私たちの経済システムの現在とこれからのあり方を具体的に考えてみます。 |
| 授業の概要 | 前半部では経済政策基礎論として、経済政策の目的、手段、政策主体について説明します。後半部は、市場の失敗、政府の失敗、ミクロ経済政策、マクロ経済政策について説明します。 |

| ○授業計画 | |
|--|-------------|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第1週：第1回 経済政策論への案内—講義を始めるに当たって 講義の目的、受講心得、参考文献及び指定図書、評価方法についての全般的な説明を行います。授業内容についての概略を説明します | 配布プリント |
| 第2週：第2回 経済政策論とは何か 経済政策論とは何かを明らかにし、経済理論から経済政策論へとどう発展させていくかを示します。経済政策と国民生活との関連性、経済政策論と経済理論との違いについての基本的な説明を行います。 | 配布プリント |
| 第3週：第3回 経済政策論の対象と課題 経済政策論ではどのような問題を取り上げるのか。経済政策論にはどのような分野があるのだろうか。経済政策論では最近どのような問題が考察されているのだろうか。経済政策論の全体像を説明します。 | 配布プリント |
| 第4週：第4回 経済政策の目的 経済政策の目的体系を示し、政策目的としての効率、公正、経済均衡と安定、生活の質の改善を説明します。経済政策の諸目的間の関連性について説明します。 | 配布プリント |
| 第5週：第5回 経済政策の手段 経済政策の目的と手段の関係を明らかにします。経済政策の手段の種類を説明します | 配布プリント |
| 第6週：第6回 経済政策の形成過程 欧米を中心とする先進各国の政策形成の現状を把握するために、政策形成過程と経済社会の今日的特質を概観します。 | 配布プリント |
| 第7週：第7回 市場システムの役割と欠陥 欧米先進国の経済活動の中心となっている市場システムの役割と欠陥を明らかにします。資源配分、所得配分といった経済活動を支える市場の役割と、効率性、公正性に関する市場の失敗を説明します。 | 配布プリント |
| 第8週：第8回 ミクロ経済政策—効率性に関する市場の失敗 | 配布プリント |

| | | |
|---|--|---------------------|
| 市場の失敗に関して、その効率性の側面から説明します。不完全競争市場、費用逓減産業、公共財、外部効果、情報の非対称性を取り上げます。 | | |
| 第9週：第9回 公正性に関する市場の失敗 | 所得分配をめぐる市場メカニズムの機能を説明します。市場メカニズムがうまく機能するための条件と、貢献原則そのものに内在する問題との関連で所得分配の公正性を実現するには政策的介入による修正が不可欠であることを明らかにします。 | 配布プリント |
| 第10週：第10回 政府の役割とその欠陥 | 市場に介入する政府の役割とその欠陥を明らかにします。公共選択論の視点から政策形成主体の行動に光をあて、政策当局が「市場の失敗」を是正しうかどうかを検討します。広義の意味での政府の失敗である囚人のジレンマ現象、レント・シーキング活動を説明します。 | 配布プリント |
| 第11週：第11回 政府の失敗への対策 | 政治的民主主義の前提条件の改善、政府部門の大きさ自体の縮小あるいは最適化、政府部門および非市場部門におけるルールやシステムの改革の三点から政府の失敗への対応を検討します。 | 配布プリント |
| 第12週：第12回 マクロ安定化政策の基礎と財政・金融政策(1) | 安定化政策の必要性、財政政策とその効果、について説明します。 | 配布プリント |
| 第13週：第13回 マクロ安定化政策の基礎と財政・金融政策(2) | 金融政策とその効果について説明します。 | 配布プリント |
| 第14週：第14回 変動為替相場制の下でのマクロ経済政策 | 変動為替相場制の下では国際収支の均衡は為替レートの変化によって実現されます。マクロ経済モデルを明示して小国の場合の財政政策と金融政策の政策効果を説明します。 | 配布プリント |
| 第15週：第15回 「アベノミクス」の現時点での評価とまとめ | 2012年12月に政権に復帰した自民党政府の経済政策、「アベノミクス」の現時点での評価を検討します。これまでのまとめをします。 | 配布プリント |
| 第16週：期末試験 | 論述形式の期末試験を行います。配布プリント・資料及び自筆ノートのみ持ち込み可能とします。電子式辞書の使用は出来ません | 配布プリント 自筆ノート、学生証 |
| 授業の運営方法 | (1)授業の形式 | 「講義形式」 |
| | (2)複数担当の場合の方式 | |
| | (3)アクティブ・ラーニング | |
| 備考 | | |

| | |
|-----------------------------|---|
| ○単位を修得するために達成すべき到達目標 | |
| 【関心・意欲・態度】 | 1.「アベノミクス」などの経済ニュースについて関心があり、ネット検索などでその情報収集を行った。 |
| 【知識・理解】 | 2. 現代の経済社会で経済政策がなぜ必要とされるのかを理解している。 3. 経済政策の適切さを判断する基準としての効率性基準、公正性基準を理解している。 4. 基本的なミクロ経済政策、マクロ経済政策を理解している。 |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | |
| 【思考・判断・創造】 | |

| ○成績評価基準(合計100点) | | | 合計欄 | 100点 |
|--|---------------------|-------------------|------------------|------|
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | 期末試験・中間確認等 (テスト) | レポート・作品等 (提出物) | 発表・その他 (無形成果) | |
| 【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | | | 10点 | |
| 【知識・理解】 ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。 | 60点 | 30点 | | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | | | | |
| 【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。 | | | | |
| (「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。 | | | | |

| ○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安 | |
|------------------------------------|---|
| 成績評価方法 | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
| レポート・作品等 (提出物) | 課題を設定してレポートを提出してもらいます。授業の中で指示します。 授業確認テストをします。意欲的に集中して授業を聴いていたかを確認する問題を出します。 |
| 発表・その他 (無形成果) | 授業の中で質問する場合があります。適切な解答をした人には、記録して加点します。 |